

生まれ変わります

岐阜県立森林文化アカデミー

副学長 正村 洋一郎

●はじめに

これは来年度から始まる森林文化アカデミーの新課程のキャッチフレーズです。

森林文化アカデミーも平成13年に開学してから今年で満10年となり節目の年を迎えました。

このためよりよい教育を目指し、昨年度からの専修教育を中心に見直しの作業を行ってきましたが、方針が固まりましたので読者のみなさんに紹介したいと思います。

●新課程の概要

来年度から、専修教育部門である森と木のエンジニア科(以下エンジニア科と言う)・森と木のクリエイター科(以下クリエイター科と言う)について大きく見直しました。高校卒業程度以上のエンジニア科ではこれまで森のコース、木のコース、環境のコースの3コースであったものが、森林・林業の基礎的学習により重点を置いた1コースになります。また、大学卒業程度以上のクリエイター科では、これまでの5研究会であったものを林業再生講座、山村づくり講座、木造建築講座とものづくり講座の4講座とし、講座間の連携も密にした川上から川下まで一体となった講座開設になります。

●学科・講座の特徴

各学科ともこれまでどおり実践教育を基本に教育が行われます。

◆エンジニア科

高校卒業程度以上の方が対象です。

これまでは森、木、環境の3コースに分かれてそれぞれ専門分野の教育を行ってきましたが、新年度からは1コースで、森林・林業に関する知識や技術を幅広く学べるようになります。

◆クリエイター科

大学卒業程度以上の方が対象です。講座で専門的な知識や技術を学ぶとともに、さらに幅広く学ぶことができるよう共通科目も充実させました。

【林業再生講座】

国の森林・林業再生プランを待つまでもなく県で早くから検討していた、持続可能で低コスト林業を実現するため中長期的展望に立ち、林業の再生を念頭に置いた講座です。卒業後は森林施

業プランナーとしての活躍も期待できます。

【山村づくり講座】

国連地球生き物会議(COP10)でも注目を浴びた里山を含む山村地域を活力あるものにするには森林機能の維持や林業の再生にもつながる重要なものです。そのため自然調査や森林環境教育やインタープリテーションなどのスキルを実践から学び、生活者として地域ならではの産業おこしや山村の自然、文化の継承保全を目指す講座です。

【木造建築講座】

性能表示された木材を使い、構造や温熱などの各種性能が明快な木の住まいや公共建築物の木造化を目指します。また、既存の住宅に長く住むため調査・改修に取り組む木材病理学など特徴ある講座です。日本ではオンリーワン・ナンバーワンといっても過言ではありません。

【ものづくり講座】

本格的な家具製作に至る木工技術習得のほか、木育の教材やカリキュラムの開発、森づくりにつなげるものづくり、生木を削るグリーンウッドワークなど、時代のニーズに応える新しい木工も学ぶことができる講座です。

●短期技術研修部門

これまでも産業界等の要請にこたえ技術者のブラッシュアップ研修などを行ってきておりますが、新年度からは林業界の新たなリーダーとなる「施業プランナー」育成研修の実施を検討しており、23年度はその準備に取り組んでいきます。

●生涯学習講座

これまで以上に県民のニーズにこたえる講座とするために民間団体と連携した企画も行います。また、研修参加者が研修で学んだことをさらに多くの方に伝えることができるようなサポートも行なってまいります。

●おわりに

以上23年度からの森林文化アカデミーの取り組みについて簡単に紹介しましたが、これまで以上に開かれ、そして県民の皆さんから求められる森林文化アカデミーを目指してまいりますので、ご支援をよろしく申し上げます。

森林文化アカデミー後期入試のご案内

◆願書受付 2011年1月5日(水)～19日(水) (クリエイター科・エンジニア科共通)

◆試験日 **クリエイター科** 2011年1月29日(土) **エンジニア科** 2011年1月30日(日)

問い合わせ先 岐阜県立森林文化アカデミー ☎0575-35-2525 URL <http://www.forest.ac.jp>